

【科目名】	理学療法各論VI(発達障害)	専門分野(2単位)	【講師名】	渡辺似望(理学療法士):医療機関にて14年実務経験			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間15回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	正常運動発達と小児疾患に対する理解と国家試験対策						
前提知識	デンバー式発達スクリーニング検査および遠城寺式発達検査について発達障害を理解する病理的知識について						
【実施形態】	講義(○)	演習( )	実習( )				
到達目標	国家試験に必要な知識を身に付ける						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現		○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月3日	1	原始反射・姿勢反射	反射中枢、出現時期、反射の形式	渡辺
4月3日	2	正常運動発達と評価	新生児期からの発達	渡辺
4月5日	3	正常運動発達の国家試験問題	デンバー式発達検査、遠城寺式発達検査、国家試験過去問題	渡辺
4月5日	4	脳性麻痺総論	脳性麻痺総論	渡辺
4月6日	5	脳性麻痺直型・アテトーゼ型	病態、原因、進行、理学療法	渡辺
4月6日	6	脳性麻痺の国家試験問題	国家試験過去問	渡辺
4月10日	7	ダウン症・二分脊椎等・その他小児疾患	病態、原因、進行、理学療法	渡辺
4月10日	8	筋ジストロフィー	デシュエンヌ型、支帯型、筋強直型	渡辺
4月11日	9	発達障害の振り返り	原始反射、姿勢反射、脳性麻痺、ダウン症、二分脊椎、早産児	渡辺
4月11日	10	国家試験対策①	中枢神経疾患	渡辺
4月17日	11	国家試験対策②	中枢神経疾患	渡辺
4月17日	12	国家試験対策③	神経筋疾患	渡辺
4月17日	13	国家試験対策④	神経筋疾患	渡辺
4月19日	14	国家試験対策⑤	整形疾患	渡辺
4月19日	15	国家試験対策⑥	整形疾患	渡辺
4月26日		まとめと評価		渡辺
教科書 参考書	PT・OT国家試験 必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学 医歯薬出版株式会社			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	理学療法 各論Ⅷ(疾患別)	専門分野 (2単位)	【講師名】	木幡 博人(理学療法士):医療機関にて18年実務経験 渡辺 似望(理学療法士):医療機関にて14年実務経験			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	9:00 ~ 17:00 (他時間割参照)			
授業内容・目標	国家試験出題基準(人体の構造と機能及び心身の発達)を確認し、同範囲に対してグループ学習を中心に学習するスタイルを身に付ける。解答・解説だけでなく、教科書を中心とした知識をグループ内でアウトプットしながら共有し進めていく方法を身に付ける。						
前提知識	1年次の3科目(解剖学、生理学、運動学)の基礎分野						
【実施形態】	講義(○)	演習(○)	実習( )				
到達目標	人体の構造と機能及び心身の発達分野(3科目)を理解し、疾患や病態運動を理解するために用いることができる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		○				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○					
	思考・推論	○					
実践・表現	○						

授業計画				
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師	
1	骨	骨の構造と分類、骨吸収と形成	木幡	
2	関節	関節の構造と分類	木幡	
3	靭帯	各部の骨、関節、靭帯	木幡	
4	筋	筋の構造と形態、各部の筋・腱	木幡	
5	筋	筋線維の構造と機能	木幡	
6	筋	筋収縮、神経-筋接合部の伝達	木幡	
7	上肢の運動学	上肢帯と上肢の運動(肩関節の運動、手部の筋・腱・靭帯)	木幡	
8	上肢の運動学		木幡	
9	下肢の運動学	下肢帯と下肢の運動(股関節、膝関節、足関節)	木幡	
10	下肢の運動学		木幡	
11	体幹と顔面	体幹の運動	木幡	
12	体幹と顔面	顔面、頭頸部の運動	木幡	
13	歩行	歩行周期、重心移動、歩行時の活動筋、異常歩行	木幡	
14	運動学習	結果の知識(KR)、運動技能、パフォーマンスの知識	木幡	
15	神経	中枢神経系、末梢神経	木幡	
16	神経	神経線維の構造、興奮と伝導、シナプス伝達、反射、など	木幡	
17	感覚と受容器	視覚器、平衡聴覚器、皮膚受容器	木幡	
18	感覚と受容器	受容器-感覚神経伝達	木幡	
19	循環系	心臓、動脈系、静脈系、リンパ系	木幡	
20	循環系	循環の調節(血液とリンパの循環)、心筋の特性、心臓拍動の自動性など	木幡	
21	呼吸系	呼吸器	木幡	
22	呼吸系	呼吸運動(気道内圧、肺の容積変化を含む)、ガス交換とガスの運搬など	木幡	
23	消化と吸収	消化器	木幡	
補	消化と吸収	唾液分泌の機序、咀嚼・嚥下運動と嚥下反射中枢、胃内消化(胃液分泌など)	木幡	
補	泌尿器と生殖器	泌尿器、生殖器	木幡	
補	泌尿器と生殖器	尿の性状、糸球体・尿管の機能、排尿機構(排尿中枢を含む)排卵、月経など	木幡	
補	ホルモン	内分泌腺	木幡	
補	発生と組織	細胞の構造と機能、細胞の分化(遺伝子、DNA等)、老化、死	木幡	
	まとめと評価			科目担当
教科書参考書	国家試験などの過去問題集、国試の達人(運動解剖生理学編)、その他必要な教科書			
授業に必要な物				
備考	教員とコミュニケーションを取りながら各疾患についての理解を深めていくよう行動すること。			

【科目名】	理学療法 各論Ⅱ(症例検討)	専門分野 (1単位)	【講師名】	渡辺 似望(理学療法士): 医療機関にて14年実務経験			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00~12:10(時間割参照)			
授業内容・目標	各教員がケースバイザーになり、学生個人個人に指導を促し、理学療法の一連の流れを理解する。						
前提知識	1年時~2年時終了までの知識や疾患の捉え方など総合的な知識、思考が求められる。						
【実施形態】	講義( )	演習(○)	実習( )				
到達目標	理学療法の一連の流れについて理解を深める。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)			100%			
	実施時期			15回目			
	補足						
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
	実践・表現	○			○	○	
<b>授業計画</b>							
	回数	テーマ	講義内容・キーワード				講師
	1	症例に対する理学療法について(PBL)①	初期評価(動作観察、統合と解釈、問題点抽出、目標設定、治療プログラム、考察)				渡辺
	2	症例に対する理学療法について(PBL)②	初期評価(動作観察、統合と解釈、問題点抽出、目標設定、治療プログラム、考察)				渡辺
	3	症例に対する理学療法について(PBL)③	治療実施(治療結果の判断解釈)				渡辺
	4	症例に対する理学療法について(PBL)④	治療実施(治療結果の判断解釈)				渡辺
	5	症例に対する理学療法について(PBL)⑤	治療実施(治療結果の判断解釈)				渡辺
	6	症例に対する理学療法について(PBL)⑥	治療実施(治療結果の判断解釈)				渡辺
	7	症例に対する理学療法について(PBL)⑦	最終評価結果の配布(動作観察の判断解釈)				渡辺
	8	症例に対する理学療法について(PBL)⑧	最終評価結果の配布(動作観察の判断解釈)				渡辺
	9	症例に対する理学療法について(PBL)⑨	最終評価結果の配布(判断解釈)				渡辺
	10	症例に対する理学療法について(PBL)⑩	最終評価結果の配布(判断解釈)				渡辺
	11	症例に対する理学療法について(PBL)⑪	最終評価結果の配布(判断解釈)				渡辺
	12	症例に対する理学療法について(PBL)⑫	最終評価結果の配布(判断解釈)				渡辺
	13	症例に対する理学療法について(PBL)⑬	統合と解釈(レポート作成)				渡辺
	14	症例に対する理学療法について(PBL)⑭	考察(レポート作成)				渡辺
	15	まとめと評価(実技試験)					科目担当
教科書 参考書	各疾患についての文献、教科書						
授業に必要な物	パソコン						
備考	教員とコミュニケーションを取りながら症例検討を進めていく。						

【科目名】	臨床実習Ⅱ－①	専門分野（10単位）	【講師名】	実習調整：高村 真司(理学療法士):医療機関にて15年実務経験 木幡 博人(理学療法士):医療機関にて19年実務経験				
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科				
【時間数】	360時間		【時間帯】	9:00～17:00(他時間割参照)				
授業内容・目標	指導者の元、理学療法の対象者に対して、基本的理学療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。自己の理学療法士としての自覚を高めることが出来るよう、各施設の臨床現場で実習を実施する。							
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した理学療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般							
【実施形態】	講義( )	演習( )	実習(○)					
到達目標	職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的理学療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。							
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)	
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。						
	実施時期							
	補足							
	関心・意欲	○				○	○	
	知識・理解	○				○	○	
	思考・推論	○				○	○	
実践・表現	○				○	○		

授業計画			
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
1	実習前評価		
2			
3			
4			
5	臨床実習Ⅱ－①		
6	5/22～7/22		
7			
8			
9			
10	実習後評価		
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類		
授業に必要な物			
備考			

【科目名】	臨床実習Ⅱ－②	専門分野（8単位）	【講師名】	実習調整：高村 真司(理学療法士):医療機関にて15年実務経験 木幡 博人(理学療法士):医療機関にて19年実務経験			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	360時間		【時間帯】	9：00～17：00(他時間割参照)			
授業内容・目標	指導者の元、理学療法の対象者に対して、基本的理学療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。自己の理学療法士としての自覚を高めることが出来るよう、各施設の臨床現場で実習を実施する。						
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した理学療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義( )		演習( )		実習(○)		
到達目標	職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的理学療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
思考・推論	○			○	○		
実践・表現	○			○	○		

授業計画				
	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
8 / 2 1 1 1 0 / 2 0	1	臨床実習Ⅱ－②		
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類			
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	医学概論	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	吉田 望 (理学療法士):医療機関にて26年実務経験 高村 真司 (理学療法士):医療機関にて14年実務経験			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	15時間 (2時間 8回)		【時間帯】	9 : 00 ~ 10 : 30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	健康、疾病及び障害について、その予防と発症・治療、回復過程に関する知識を習得し、理解力、観察力、判断力を養うとともに、高度化する医療ニーズに対応するため栄養学、画像診断学、救急救命医学等の基礎を学ぶ。						
前提知識	専門基礎分野における「解剖学」「生理学」から学ぶ人体の構造と機能の基礎知識 消化・吸収を含む人体の運動生理学の基礎知識						
【実施形態】	講義(○)	演習( )	実習( )				
到達目標	栄養、医用画像、救急救命及び予防の基礎の習得						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		科目終了時				
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
	実践・表現		○				

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
6月2日	1	栄養学の基礎①	三大栄養素 エネルギー	吉田
6月16日	2	栄養学の基礎②	リハビリテーションに必要な栄養学	吉田
6月26日	3	救急救命の基礎①	意識状態(JCS、GCS)、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数) 心肺蘇生法、BLS(一次救命処置)、AED、回復体位	吉田
6月30日	4	救急救命の基礎②	意識状態(JCS、GCS)、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数) 心肺蘇生法、BLS(一次救命処置)、AED、回復体位	吉田
7月1日	5	画像の見方①	単純X線、CT、MRI 各臓器・骨格の名称と構造	高村
7月1日	6	画像の見方②		高村
7月8日	7	画像の見方と診断①	整形外科疾患、中枢神経疾患、内部疾患等の各疾患の基礎と特徴	高村
7月8日	8	画像の見方と診断②		高村
7月15日	9	まとめと評価		科目担当
教科書 参考書	PT・OTのための画像診断マニュアル 標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版 標準理学療法学・作業療法学 生理学第5版			
授業に必要な物	PC、プロジェクター、全身骨格の模型、臓器の模型			
備考				

【科目名】	総合理学療法学	専門分野 (2単位)	【講師名】	高村 真司(理学療法士):医療機関にて15年実務経験 東海林 智也(理学療法士):医療機関にて17年勤務経験			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	実習を通し、経験・学んだ症例を通して、1年次から3年次まで学習した知識の総復習を行う。また、同時に再度症例に対して考察・実施内容の再検討を行う事で、知識の定着を図り、今後の臨床に繋げられるよう学習する。						
前提知識	1年次から3年次までの基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識						
【実施形態】	講義(○) 演習( ) 実習( )						
到達目標	各分野についての知識の定着 各疾患における知識の応用能力の習得						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期	平時	当科目終了時			当科目内	
	補足	質疑応答など	障害像など				
	関心・意欲	○	○			○	
	知識・理解		○			○	
	思考・推論		○			○	
実践・表現					○		

授業計画				
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師	
1	理学療法と研究①	症例に対する一般・社会的・医学的情報の整理と解釈 理学療法評価からの解釈・統合と妥当性の検討 理学療法評価からの治療選択と妥当性の検討 治療実践における経過からの解釈と妥当性の検討 介入開始から終了までを通した、症例における解釈と考察 介入終了後における予後・生活面を含めた解釈と考察	高村	
2	理学療法と研究②		高村	
3	理学療法と研究③		高村	
4	理学療法と研究④		高村	
5	研究と解釈①		高村	
6	研究と解釈②		高村	
7	研究と解釈③		高村	
8	研究と解釈④		高村	
9	理学療法研究の展開①		高村	
10	理学療法研究の展開②		高村	
11	理学療法研究の展開③		東海林	
12	理学療法研究の展開④		東海林	
13	理学療法における知識の整理:基礎知識①	症例を通じて学んだ基礎知識、専門知識 理学療法を行う上で必要な知識全般 (解剖学・生理学・運動学 他)	東海林	
14	理学療法における知識の整理:基礎知識②		東海林	
15	理学療法における知識の整理:基礎知識③		東海林	
16	理学療法における知識の整理:基礎知識④		東海林	
17	理学療法における知識の整理:基礎知識⑤		東海林	
18	理学療法における知識の整理:専門知識①		症例を通じて学んだ基礎知識、専門知識 理学療法を行う上で必要な知識全般 (整形外科疾患・中枢神経疾患・内部障害 他)	東海林
19	理学療法における知識の整理:専門知識②	東海林		
20	理学療法における知識の整理:専門知識③	東海林		
21	理学療法における知識の整理:専門知識④	東海林		
22	理学療法における知識の整理:専門知識⑤	東海林		
23	理学療法における知識の整理:専門知識⑥	東海林		
	まとめと評価		科目担当	
教科書 参考書	1年次から3年次までに使用した教科書と参考書			
授業に必要な物				
備考	ディスカッションは積極的に参加する事。また授業外で知識の復習を積極的に行う事。			

【科目名】	理学療法管理学	専門分野(2単位)	【講師名】	渡辺似望(理学療法士):医療機関にて13年勤務			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科 55名			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	(他時間割参照)			
授業内容・目標	医療保険制度、介護保険制度を理解し、職場管理、理学療法教育に必要な能力を培うとともに、職業倫理を高める態度を養う。						
前提知識	理学療法概論で学んだ理学療法としての適性について理解していること。 医療保険制度、介護保険制度の基礎を理解していること。						
【実施形態】	講義(○)		演習( )		実習( )		
到達目標							
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)				50%	50%	
	実施時期				全ての授業終了後	随時	
	補足				レポート課題	態度と内容	
	関心・意欲					○	
	知識・理解				○		
	思考・推論				○	○	
	実践・表現				○	○	

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	管理者に必要な能力	管理能力	渡辺
	2	管理者に必要な能力	管理能力	渡辺
	3	人を管理するとは	人の評価	渡辺
	4	人を管理するとは	人の評価	渡辺
	5	理学療法士の未来像	職能団体としての責務	渡辺
	6	病院や職場を評価するとは	自分を評価・管理する	渡辺
	7	病院や職場を評価するとは	SWOT分析、管理手法、OJT、Off-JT、マネジメントとは	渡辺
	8	病院や職場を評価するとは	EBMとNBM	渡辺
	9	感染予防	標準予防策(スタンダードプリコーション)、感染対策委員会	渡辺
	10	感染予防	手洗いの仕方	渡辺
	11	リスクマネジメント	インシデント、ひやりはっと	渡辺
	12	リスクマネジメント	医療安全管理委員会	渡辺
	13	記録の管理・診療報酬の管理	SOAP、診療報酬、介護報酬	渡辺
	14	教育管理	クリニカルラダー	渡辺
	15	教育管理	プレゼンテーション能力	渡辺
教科書 参考書				
授業に必要な物				
備考				



【科目名】	地域理学療法学	専門分野(2単位)	【講師名】	渡辺似望(理学療法士): 医療機関にて13年実務経験 他			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	(他時間割参照)			
授業内容・目標	臨床実習に対応できる知識、判断力、考察力を身に付ける。 患者さんを指導する上でのコーチングの技法を身につける 地域理学療法の実践能力を身につける						
前提知識							
【実施形態】	講義(○)		演習(○)		実習( )		
到達目標	臨床実習に対応できる知識、判断力、考察力を身に付けることができる 患者さんを指導する上でのコーチングの技法を身につけることができる 地域理学療法の実践能力を身につける						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		70		30		
	実施時期		当科目終了時		前半終了時		
	補足						
	関心・意欲				○		
	知識・理解		○		○		
	思考・推論		○		○		
	実践・表現		○		○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステム 公助・共助・互助・自助	渡辺
	2			渡辺
	3	介護保険制度	介護保険制度の理念 要介護度・要介護認定について	渡辺
	4			渡辺
	5	介護保険制度	介護保険サービスの種類・介護報酬について介護支援専門員 ケアプラン	渡辺
	6			渡辺
	7	介護保険制度	ケアプランを立ててみよう	渡辺
	8			渡辺
	9	各種サービス	入所サービス 介護老人保健施設 介護老人福祉施設	渡辺
	10			渡辺
	11	各種サービス	居宅サービス 通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション	渡辺
	12			渡辺
	13	介護予防	介護予防とは 一次予防・二次予防・三次予防 地域における介護予防事業・地域包括支援センター	渡辺
	14			渡辺
	15	介護予防	介護予防体操の実施	渡辺
	16			渡辺
	17	介護予防	地域ケア会議とは	渡辺
	18			渡辺
	19	介護予防	模擬ケア会議の実施	渡辺
	20			渡辺
	21	産業リハビリテーション	JMAT・JRAT 大規模災害発生時の理学療法士の役割 産業リハビリテーション	渡辺
	22			渡辺
	23			渡辺
	24	まとめと評価	まとめと評価	渡辺
教科書 参考書	随時指示する			
授業に必要な物				
備考				